

薦原分団薦生地区消防ポンプ庫解体 及びコミュニティ消防センター新築工事

□ 建築図面 □		□ 構造図面 □		□ 電気設備図面 □		□ 機械設備図面 □	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	図面リスト	S-01	構造特記仕様書	E-01	特記仕様書 照明器具姿図	M-01	機械設備工事特記仕様書
A-02	特記仕様書 1	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-02	電灯コンセント平面図	M-02	配置図・機器表
A-03	特記仕様書 2	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)			M-03	機械設備平面図
A-04	特記仕様書 3	S-04	鉄骨工作標準図(1)				
A-05	特記仕様書 4	S-05	鉄骨工作標準図(2)				
A-06	特記仕様書 5	S-06	深層混合処理特記仕様書				
A-07	付近見取図	S-07	基礎伏図・梁伏図・軸組図				
A-08	既存ポンプ庫 1	S-08	架構詳細図・基礎詳細図・各部詳細図				
A-09	既存ポンプ庫 2						
A-10	既存ポンプ庫 3						
A-11	配置図・断面図						
A-12	丈量図・求積図						
A-13	平面図・仕上表・天井伏図						
A-14	立面図・建具表						
A-15	展開図						
A-16	矩計図 1						
A-17	矩計図 2						
A-18	外構図						
A-19	共通仮設図						

9

防水工事

2.改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

(9.3.3)

(表9.3.1)

～(表9.3.3)

改質アスファルトシート

種類

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示()

厚さ

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示()

厚さ

・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

・図示()

仕上塗料

・図示(図面番号:)

種類()

使用量()

脱気装置

・設置数量

図示(図面番号:)

種類()

断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類()

厚さ()mm

3.合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)

(9.4.3)

(表9.4.1)

(表9.4.2)

(表9.4.3)

(9.4.2)

ルーフィングシート

種類

・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

・図示()

厚さ

・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

・図示()

絶縁用シート

・発砲ポリエチレンシート

()

固定金具

材質、寸法形状()

・図示(図面番号:)

断熱材

材質、厚さ()

・図示(図面番号:)

仕上塗料

・図示(図面番号:)

種類()

使用量()

4.塗膜防水

(9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

施工箇所

種別

X-1

X-2

Y-1

Y-2

脱気装置(X-1)

・設置数量

図示(図面番号:)

種類()

保護層(Y-2)

・図示(図面番号:)

仕上塗料

・図示(図面番号:)

種類()

使用量()

⑤シーリング

(9.7.2)

(9.7.3)

(表9.7.1)

接着性試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

10

石工事

1.天然石

(10.2.1)

(表10.2.1)

(表10.2.2)

使用部位

種類(名称)

品質

寸法・厚さ(mm)

表面仕上げ

工法

形状

床

・2等

・粗磨き

()

壁

・1等

・水磨き

()

割付

・標準仕様書[10.1.3](a)

・図示(図面番号:)

粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ

()

清掃における床面ワックス

・使用する

ジェットバーナー仕上面

・手加工あり

・機械加工バフ仕上あり

2.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

種別

施工箇所

2.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

寸法による区分

表面仕上

・大理石

・1.5～12mm

・300型

・400型

()

テラゾブロック

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

形状

仕上げ面

寸法(mm)

表面仕上

・大理石

・1.5～12mm

・平もの

・片面

・役もの

・両面

()

()

割付

・標準仕様書[10.1.3](a)

・図示(図面番号:)

清掃における床面ワックス

・使用する

10.1.3)

10.1.5)

11

タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

②陶磁器質タイル張り

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.3.3)

(11.3.4)

(表11.3.2)

タイルの種類

施工箇所

形状寸法

工法

耐滑り性

区分(きじ)

I類(磁器)

II類(せつ器)

III類(陶器)

うわぐすり

役物

標準・特注色

耐凍害性

便所床

50角

在来

○

標準

便所巾木

50角

接着貼り

○

標準

・役物()

・タイルの試験張りを行う

・見本焼きを行う

セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事

コンクリート素地面の処理

・適用箇所

図示(図面番号:)

・目荒し工法

・MCR工法

接着剤あと張り工事

シーリング材

打継、ひび割れ誘発目地

・PU-2

()

伸縮、その他目地

・MS-2

()

11.2.7)

11.3.7)

12

木工工事

1.木材

(12.1.4)

(表12.1.1)

(12.2.1)

(12.4.1)

(12.5.1)

(12.6.1)

(12.7.1)

(表12.2.1)

見え掛り部の表面仕上げ

・A種

・B種

・C種

適用箇所()

木材の含水率

部材名称

種別

下地材

○A種

・B種

造作材

・A種

・B種

樹種

・米松

2.製材

(12.2.1)(b)(1)

製材

「製材の日本農林規格」による製材

樹種・寸法・形状

等級

含水率

下地用針葉樹製材

・図示(図面番号:)

・()

造作用針葉樹製材

・図示

・()

広葉樹製材

・図示(図面番号:)

・()

・10%以下

12.1.4)

12.2.1)

12.4.1)

12.5.1)

12.6.1)

12.7.1)

12.2.1)

13

屋根及びとい工事

1.長尺金属板葺

(13.2.2)

(13.2.3)

(表13.2.1)

耐風圧及び積雪荷重に対応した工法

・図示(図面番号:)

・図示(図面番号:)

雪止め

・図示(図面番号:)

②折板葺

(13.3.2)

(13.3.3)

緊結方法

板厚(mm)

山の高さ(mm)

山のピッチ(mm)

耐力区分

・重ね形

○0.8

・0.6

○90

・()

・()

・()

・()

○はぜ締め形

○塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合板めっき鋼板

()

○あり

・なし

断熱材

種別

・ガラス繊維シート

○フネンエース

厚さ(mm)

・5

○4

防火性能

○(不燃)

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・図示(図面番号:)

3.集成材等

(12.2.1)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

樹種・寸法・形状

等級

化粧薄板厚さ

造作用集成材

・図示(図面番号:)

・()

化粧ばり造作用集成材

・図示(図面番号:)

・()

化粧ばり構造用集成材

・図示(図面番号:)

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率

・図示(図面番号:)

造作材の材面の品質

・A種

・()

4.単板積層材

(12.2.1)

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

厚さ、表面の品質及び防虫加工

・図示(図面番号:)

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工

・図示(図面番号:)

⑤床張り用合板及びその他の合板

(12.2.1)

部材名称

樹種名

接着の程度

等級

板面の品質

防虫処理等

厚さ

床下地

針葉樹

1類

2級

B～C

防虫処理

12.0

構造用合板の強度等級

○1級

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等

・図示(図面番号:)

上框・化粧巾木・化粧廻縁・化粧見切等(メーカー仕様による)

LIXIL(サンウエーブGSM-150MXT)L1500 シリーズ又は同等品

⑥既製品造作材

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・()

④鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

⑤軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

屋外の野縁受等の間隔

・図示(図面番号:)

吊りボルトの補強方法(@900mm超)

・図示(図面番号:)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ≥1.5m

・標準仕様書[14.4.4](h)

・図示(図面番号:)

・天井ふところ>3.0m

図示(図面番号:)

・耐震天井

図示(図面番号:)

・耐風圧の補強

図示(図面番号:)

⑥軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

○標準仕様書[表14.5.1]

・図示(図面番号:)

スタッドの高さ5m超

・図示(図面番号:)

⑦天井見切縁

⑧点検口

⑨外壁角波鋼板

外壁

ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 既製品

15

左官工事

①モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

既製目地材

・使用する

図示(図面番号:)

床の目地

・図示(図面番号:)

下地モルタルの接着力試験(外壁タイル張り等)

・実施する

2.セルフレベリング

(15.4.2)

種類

・せっこう系

・セメント系

③とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・()

配管用鋼管(白管)

鋼管製といの防露巻工法

・標準仕様書[表13.5.5]

・()

①あと施工アンカー

(14.1.3)

②ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

表面処理の種類

・A-1

・A-2

・B-1

・B-2

・C-1

・C-2

・D

常温乾燥形の塗装

()

陽極酸化被膜の着色方法

・二次電解着色

・(

15

左官工事

3.仕上塗材仕上
(15.5.2)
(表15.5.1)

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク	
	・()	・()	・()
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	スタック状 ・吹放し ・凸部処理 ・平坦状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け
			・こて
	・外装厚塗材Si	スタック状 ・吹放し ・凸部処理 ・平坦状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け
・外装厚塗材E		・こて ・ローラー	
・()	・()	・()	
複層仕上塗材	・複層塗材E	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	・ローラー ・吹付け
	・複層塗材RE		
	・防水型複層塗材E		
	・防水型複層塗材RE		
・()	・()	・()	
軽量骨材 仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・砂壁状	・吹付け
	・こて塗用軽量塗材	・平坦状	・こて

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）
・JIS A 6909 調湿形

複層仕上塗材の耐候性 耐候形 3 種 ・()

外装厚塗材Cの上塗材
・セメントスタッコ以外の場合 材所要量(kg/㎡)

(表15.5.2)

複層仕上塗材の上塗材の種類

樹 脂 種 類	溶 媒 種 類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	

(15.5.4)
(15.5.7)

ALCパネルの内壁目地 ・ V形目地付き ・()

仕上塗材の所要量等の確認方法 ・ 標準仕様書[表15.5.4] ・()

4.ロックウール
吹付け
(15.8.3)

仕上げ吹付け厚さ () mm

16

建具工事

③網戸
(16.2.3)

4.鋼製建具
(16.4.2)
(表16.4.1)
(表16.2.1)
(16.4.3)
(16.4.4)
(表16.4.2)

5.鋼製軽量建具
(16.5.2)
(16.5.3)
(16.5.4)

6.ステンレス製
建具
(16.6.2)
(16.6.3)
(16.6.4)
(16.6.5)

7.木製建具
(16.7.2)
(表16.7.1)
(表16.7.6)
(表16.7.3)
(16.7.4)

⑧建具用金物
(16.8.2)
(表16.8.1)
(16.8.3)
(16.8.4)

9.重量シャッター
(16.11.2)
(表16.11.1)

⑩軽量シャッター
(16.12.2)
(表16.12.1)
(16.12.3)
(16.12.4)

形式 ○可動式 ・固定式
網の材質 ・合成樹脂 ・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス (SUS316) ・()
網 目 ○16メッシュ ・18メッシュ ・()
簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:)
外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級)
鋼板の種類、めっき付着量
・ JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
・ JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()
鋼板類の厚さ ・ [表16.4.2] ・ 図示 (図面番号:)
H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号:)
簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:)
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級)
鋼板類の表面仕上げ
・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・HL ・鏡面)
召し合せ、縦小口包み板等の材質
・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材
鋼板類の厚さ ・ [表16.5.1] ・ 図示 (図面番号:)
H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号:)
簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号:)
外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ (等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ (等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ (等級)
ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ ()
表面仕上げ ・ HL ・ 鏡面仕上げ
曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
建具材の含水率 ・ A種 ・ B種 ・ C種
フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
種類、材面の品質 ・ 図示 (図面番号:)
接着の程度 ・ 1類 (水掛り)、2類 (その他) ・ ()
フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ ・ 標準仕様書[表16.7.6] ・ ()
引戸の召合わせ ・ いんろう付き 図示 (図面番号:)
かまち戸 かまち、鏡板の樹種 ・ 図示 (図面番号:)
ふすま 上張の種類 ・ 図示 (図面番号:)
緑の仕上げ ・ 図示 (図面番号:)
枠及びくつずりの材料 ・ 図示 (図面番号:)
戸の見込み寸法 ・ 図示 (図面番号:)
マスターキー ・ 製作する ○製作しない
・ 監督員と協議の上システムを決定する
キーボックス ・ 要 ○不要
金物の種類、見え掛かり部等の材質等
・ 標準仕様書[表16.8.1] ・ 図示 (図面番号:)
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
○ FL+1500以内
シャッターの種類 ・ 図示 (図面番号:)
開閉機能による種類 ・ 図示 (図面番号:)
管理用シャッター、外壁用防火シャッター
・ 耐風圧強度 (Pa 以上)
管理用シャッターのシャッターケース ・ 図示 (図面番号:)
鋼板の種類 ・ 図示 (図面番号:)
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
開閉機能による種類 ○ 図示 (図面番号: A-14)
○耐風圧強度 メーカー仕様による
スラットの材質、めっき付着量
○ メーカー仕様による
・ JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()
スラットの形状
○ メーカー仕様による ・ オーバーラッピング形

①材料
②施工一般
(18.2.2)
～(18.14.2)

3.耐候性塗料
塗り (DP)
(18.7.2)
(表18.7.1)
(18.7.4)

1.ビニルシート
張り
(19.2.2)

2.ビニル床タイル
張り
(19.2.2)

3.ビニル幅木
(19.2.2)

4.施工
(19.2.3)

⑤カーペット敷き
(19.3.3)
(19.3.4)
(表19.3.1)
(表19.3.2)

6.合成樹脂床床
(19.4.2)
(表19.4.4)
(表19.4.5)
～(表19.4.8)

板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等
○ 図示 (網入りガラス網部小口は錆止め処理を施す)
留め材 ○シーリング ・ ガasket ()
ガラス溝の寸法、形状等
○ 標準仕様書[表16.14.1] ・ 図示 (図面番号:)
熱線反射ガラスの映像調整 ・ 実施する

防火材料の指定箇所(1階車庫 壁、天井)

塗料塗り		施工箇所	下地の種類	素地 ごしらえ	錆止め塗料 の種類
種類	種別				
SOP	・ A種 ○ B種	外部 鉄骨 内部	鉄鋼面	・ A種 ○ B種 ・ C種	JIS-K5621
EP	・ A種 ○ B種	内部 天井 壁	ボード面	・ A種 ○ B種	
UC	・ A種 ○ B種	内部 木部		・ A種 ○ B種	

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	コンクリート、ECF面における種別
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級(ウレタン樹脂)	・ A種 ・ B種 ・ C種

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
・ NC ・ NF ・ ()	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.0 ・ ()	・ 溶接 ・ 突付け

寸法	種類		厚さ(mm)
・ 300×300	・ コンポジションビニル 床タイル	半硬質	・ 2.0
・ 450×450	・ コンポジションビニル 床タイル	軟質	・ ()
	・ ホモジニアスビニルタイル		・ ()

高さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 60mm
厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 1.5mm以上
下地 ・ モルタル ・ 珪藻土[※]リ[※]ン[※]グ ・ 木造
・ ()
継目 ・ 突付け ・ 熱溶接工法

種別	色柄	バイル形状	バイル長・総厚	工法
・ タフテット カーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	バイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着
・ ニードル パンチ カーペット	・ 無地 ・ 柄物		総厚さ ・ ()	・ 全面接着
○ タイル カーペット	○ 無地 ・ 柄物	○ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ○ 6.5mm ○ 500角 ・	・ 全面接着

・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970)
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970)
・ 薄膜流し展べ仕上げ
・ 厚膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)
・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)
・ 塗膜型塗床材仕上げ

18

内装工事

7.フローリング
張り
(19.5.2)
(19.5.4)
(19.5.5)
(19.5.6)
(19.5.7)

材料 ・ 単層フローリング
・ フローリング“ホード” (1等) ・ フローリング“ブロック” (1等)
・ モザイクパターカット (1等)
・ 複合フローリング
・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)
・ 接着工法

材料	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	裏面緩衝材
・ フローリング“ホード” (直張用)	・ なら ・ ()			・ 合成樹脂発泡シート
・ フローリング“ブロック” (直張用)				
・ 複合フローリング (直張用)	・ C種 ・ A種 ・ B種			
・ モザイクパターカット (直張用)		・ 図示 ()	・ 図示 ()	・ 図示 ()

現場塗装
仕上げ ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (・ A種 ・ B種)
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・ ()

8.畳敷き
(19.6.2)
(表19.6.1)

⑨せっこうボード、
その他のボード
及び合板張り
(19.7.2)
(表19.7.1)
(19.7.3)
(表19.7.4)
(表19.7.5)

材種	種別	厚さ(mm)	
○ せっこうボード		壁	・ 9.5(準不燃) ○ 12.5(不燃)
		天井	・ 9.5(準不燃)
○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃)	
	・ 木目模様	○ 9.5(準不燃)	
・ ロックウール化粧 吸音板	・ 普通	・ 9 ・ ()	
	・ 立体模様	・ ()	
○ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ 0.8FK	・ 6.0(不燃) ○ 8.0(不燃)	
○ 化粧ケイ酸カルシウム板	○ UVコート仕上げ	○ 6.0(不燃)	

合板張り
○ 普通合板 表面の樹種 ○ 生地のまま
・ (透明塗料塗り)ラワン (不透明塗料塗り)しな
・ ()
品質 () 厚さ (mm)
接着の程度 ・ 1類 (湿潤箇所) ・ () m
防虫処理 ・ ()
・ 天然化粧合板 化粧板の種類 ・ ()
厚さ (mm)
接着の程度 ・ 1類 (湿潤箇所) ・ () m
防虫処理 ・ ()
・ 特殊加工合板 化粧加工の方法
・ オーバーレイ ・ プリント
・ 塗装 ・ ()
表面性能 () 厚さ (mm)
接着の程度 ・ 1類 (湿潤箇所) ・ () m

工事名

高取

設計事務所

図面名

日付

特記仕様書 4

1級建築士登録第343708号 大久保 雅実

1級建築士登録第210968号 大久保 和英

2024.

A-05

18

内装工事

10. 吸音材張り
(19. 7. 2)

遮音シール材
・適用する(・シーリング材・ジョイコンパウンド)
合板類の張付け・B種・A種
せっこうボードの目地工法
①継目処理・突付け・目透し
下地①軽量鉄骨・木造・()

材種	種別	厚さ(mm)	工法
・吸音用グラスウールボード ・グラスウール成型板	・2号32K	・25	・グラスクロス19メッシュ張り(小口共) ・化粧ボタン止め(タテ、ヨコ共@300程度)

特定フロンを含まないもの

施工箇所	材料	防火性能	品質
会議室壁	ビニールクロス	不燃	スーパー耐久性

素地ごしらえ
せっこうボード面①B種・A種
コンクリート面・B種・A種
モルタル・プラスター面・B種・A種

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン無し)		
	・硬質ウレタンフォーム断熱材		
	・フェノールフォーム断熱材		
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
	・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキン無し)		
	・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
	・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		
外壁、天井	①繊維系断熱材	グラスウール32K	50

11. 壁紙張り
(19. 8. 2)

12. 断熱材
(19. 9. 2)

19

雑及びその他工事

1. トイレブース
(20. 2. 5)

表面仕上・メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板
幅木・図示(図面番号:)
扉小口の材質・ステンレス製・アルミ製

2. 階段滑り止め
(20. 2. 6)

・ステンレスSUS304製ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)
・()
寸法・約35mm・図示(図面番号:)
工法・接着工法・埋込み工法

3. 黒板及びホワイトボード
(20. 2. 8)

黒板の種類・焼付け・()
黒板の色・緑・()

4. 表示
(20. 2. 10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
・室名札 ・()	・アクリル ・()	・5mm	・()	・シルクスクリーン印刷 ・()	・()
・案内板 ・()	・アクリル ・()	・5mm	・()	・シルクスクリーン印刷 ・()	・()

・衝突防止表示 図示(図面番号:)
・非常用進入口表示 図示(図面番号:)

5. ブラインド
(20. 2. 12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
①横形ブラインド	①アルミニウム合金 ・()	・ギヤ式 ①コード式 ・()	①25 ・()	①鋼製 ・()
・縦形ブラインド	・アルミニウム合金 ・()	・ギヤ式 ・コード式 ・()	・80 ・100 ・()	・()

6. アルミ庇
(20. 2. 13)

既製品 W=900 L=2,700 アルフィン AD2N同等品

7. プラ木レン
(20. 2. 14)

既製品 H=206 フクビ プラ木レン同等品

8. ホストフォーム
(20. 2. 15)

既製品 t=20 アイカ VPA同等品

9. スチールラック
(20. 2. 16)

既製品 L1,800×D450×H2,100 コクヨ M1-7655N同等品

10. 木製流し台
(20. 2. 17)

既製品 L=1,500 L1X1L GKシリーズ 同等品
付属アルミ水切りカバー共

11. 埋蔵文化財包蔵地における土木工事
(20. 2. 18)

①計画場所は、埋蔵文化財包蔵地にあたるため、確認調査(試堀等)及び工事立合いを行うため、監督員等の指示に従い誠意を持って対応する事。
②慎重工事
③対象工事(土木工事)、(給排水設備工事)、(機械設備工事)、(事業工事)

20

外構工事

1. フェンス
(21. 2. 1)

・ネットフェンス・網材種(・ビニル被覆鉄線・())
・メッシュフェンス
網材種(・樹脂皮膜・工場塗装・())
JFE建材 Jメッシュ J型同等品
・格子フェンス
網材種(・樹脂皮膜・工場塗装・())

2. 排水管
(21. 2. 1)

排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
・硬質ポリ塩化ビニル管	VP	75	
・既製品台付管	既製台付管	150	

3. 排水樹等
(21. 2. 1)

・排水樹
種類及び寸法・図示(既製品RC樹、既製品道路用樹)
・適用荷重()
・排水溝
種類及び寸法・図示(既製品U字溝、既製品VS側溝)
・ふた/グレーチングの種類・図示

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考

4. 舗装工事
(21. 2. 1)

・路床
(22. 2. 2)
(22. 2. 3)
(表22. 2. 2)
(22. 2. 4)
(22. 2. 5)
路床の材料(厚さは図示(図面番号: A-18))
・遮断層・川砂・海砂又は良質な山砂
・凍上抑制層・切込み砂利・砂・()
・フィルター層・砂
路床安定処理・行う
添加材料による安定処理
種類・普通ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントB種・生石灰()号
・消石灰()号
添加量()kg/m²(目標OBR・5以上・())

舗装の種類	舗装の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料
①アスファルト舗装	①図示	①再生クラッシャラン
・カラー舗装	・()・()	・クラッシャラン
・透水性アスファルト舗装	・()・()	鉄鋼スラグ
・インターロッキングブロック舗装	・()・()	・クラッシャラン ・()
・()	・()・()	

舗装厚①図示
・A-3-10・()

表層及び基層の種類
①加熱アスファルト混合物・再生加熱アスファルト混合物

路盤材料
・クラッシャラン①再生材クラッシャラン・()
シールコートの施工・行う(適用範囲 図示(図面番号:))
試験・アスファルト混合材等の抽出試験

5. アスファルト舗装
(22. 4. 2)～
(22. 4. 6)
(表22. 4. 1)～
(表22. 4. 6)

早強セメント①使用しない・使用する
注入目地材料・低弾性タイプ・高弾性タイプ
目地①種類(目地棒)・間隔()
構造・標準仕様書[図22. 5. 1]・()

6. コンクリート舗装
(22. 5. 2)～
(22. 5. 6)

・カラー舗装
(22. 6. 2)
(22. 6. 3)

種類
・加熱系 構成及び厚さ()
混合物・アスファルト・石油樹脂系
添加材・着色骨材・自然石
・常温系
着色部下部・アスファルト舗装・コンクリート舗装

・透水性アスファルト舗装
(22. 7. 2)
(表22. 7. 1)

舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト
厚さ(mm)・()・図示(図面番号:)

5. 砂利敷き
(22. 9. 2)

・駐車場部・A種・B種・()
・建物周囲・B種・A種・()

6. 植樹
(23. 3. 2)
(23. 3. 3)

樹木の種類・図示(図面番号:)
寸法・図示(図面番号:)
株立数・図示(図面番号:)
刈込み・あり・なし
支柱材
・丸太(防腐処理方法・加圧式防腐処理方法・())
・()
支柱形式・鳥居形・ハツ掛け系・()
幹巻き用材料・幹巻き用テープ・わら・もち
引渡しの日から・1年・()

新植樹木の枯補償
(23. 3. 4)

7. L型擁壁

既製品L型擁壁 H=1,800 松阪興産 HDウォール同等品

工事名
設計事務所
図面6

薦原分団薦生地区消防ポンプ庫解体及びコミュニティ消防センター新築工事
特記仕様書 5

日付
2024.

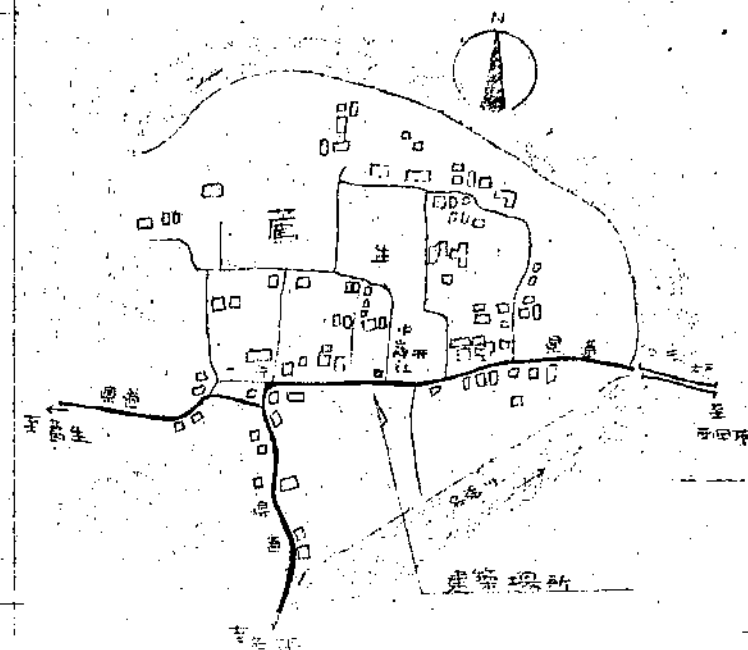
設計事務所
一級建築士事務所登録第1-2481号
一級建築士登録第343708号
一級建築士登録第210868号

アトリエ73
大久保 啓典
大久保 和英

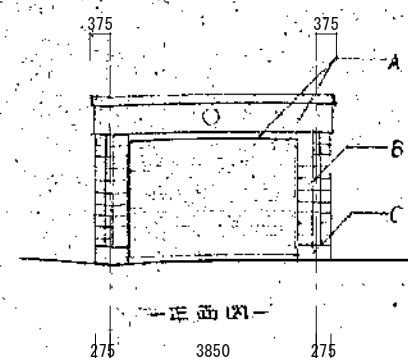
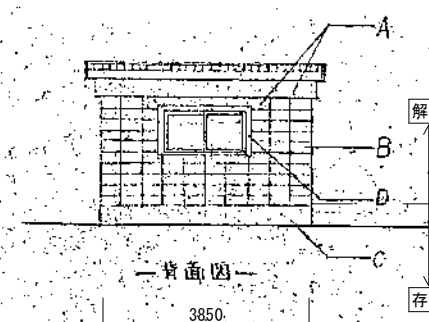
頁数
A-06

[illegible]

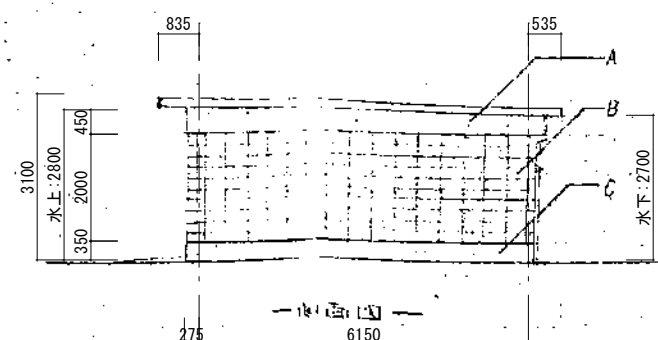
① 鋼板
 ② 鋼管
 ③ 鋼筋
 ④ 鋼板
 ⑤ 鋼管
 ⑥ 鋼筋
 ⑦ 鋼板
 ⑧ 鋼管
 ⑨ 鋼筋
 ⑩ 鋼板
 ⑪ 鋼管
 ⑫ 鋼筋
 ⑬ 鋼板
 ⑭ 鋼管
 ⑮ 鋼筋
 ⑯ 鋼板
 ⑰ 鋼管
 ⑱ 鋼筋
 ⑲ 鋼板
 ⑳ 鋼管
 ㉑ 鋼筋
 ㉒ 鋼板
 ㉓ 鋼管
 ㉔ 鋼筋
 ㉕ 鋼板
 ㉖ 鋼管
 ㉗ 鋼筋
 ㉘ 鋼板
 ㉙ 鋼管
 ㉚ 鋼筋
 ㉛ 鋼板
 ㉜ 鋼管
 ㉝ 鋼筋
 ㉞ 鋼板
 ㉟ 鋼管
 ㊱ 鋼筋
 ㊲ 鋼板
 ㊳ 鋼管
 ㊴ 鋼筋
 ㊵ 鋼板
 ㊶ 鋼管
 ㊷ 鋼筋
 ㊸ 鋼板
 ㊹ 鋼管
 ㊺ 鋼筋
 ㊻ 鋼板
 ㊼ 鋼管
 ㊽ 鋼筋
 ㊾ 鋼板
 ㊿ 鋼管



附 近 見 取 區



正 面 圖 $S = 1100$

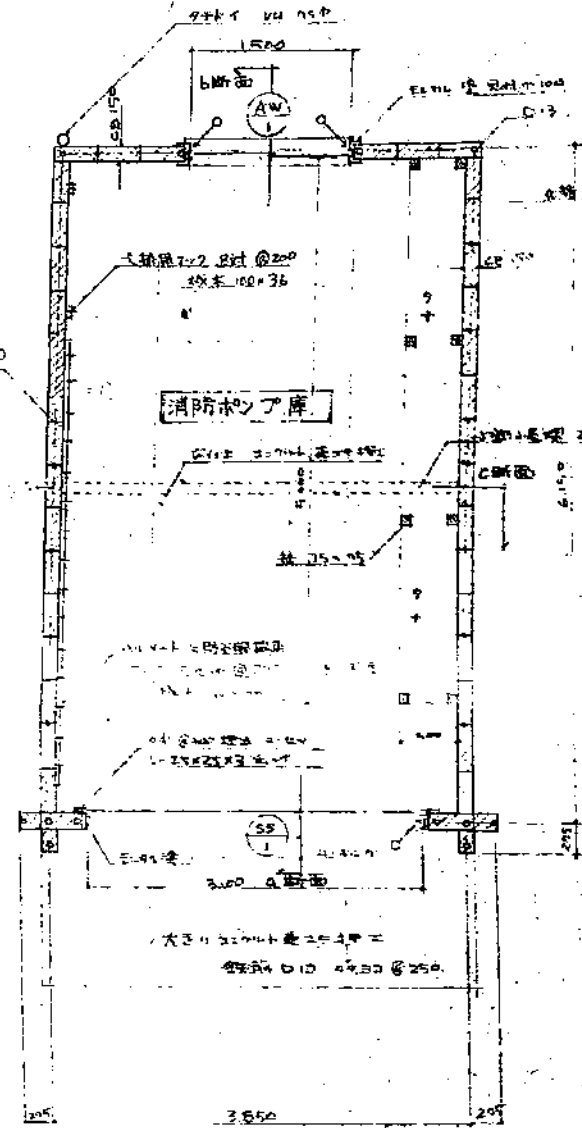


- A シンクリード打放ししたタタキ仕上げの壁付天井
B シンクリードダクトの断面に緑色のタタキ仕上げの壁付天井
C コンクリート打放し
D モルタル刷毛引きのタタキ仕上げの壁付天井
※ A・B・Dは石綿含有建材(レベル3)
※ 建物上部解体

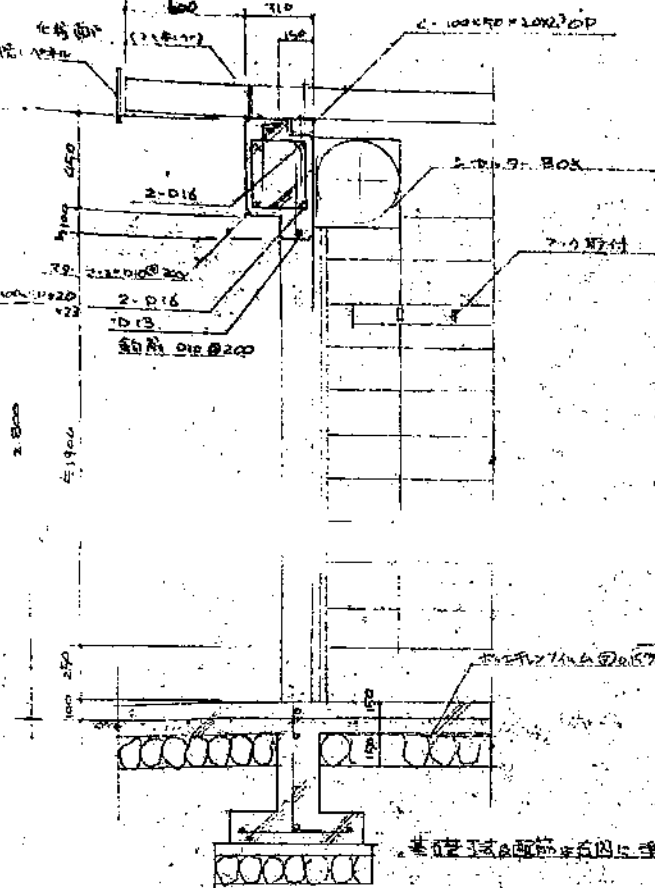
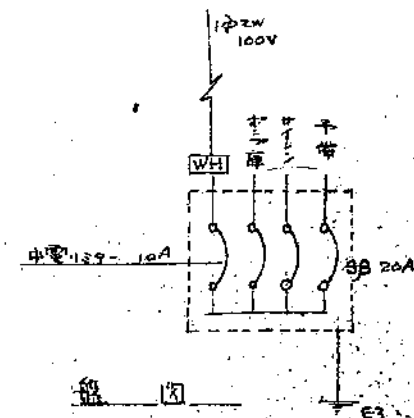
工事名	蕨生消防ポンプ新築工事			工番	10
蕨生消防ポンプ新築工事 及びコミュニティ消防センター新築工事					
既存ポンプ庫1		床高	S=1/100	図面	A-08
		天井	2024. 10		
設計事務所 アトリエ73 一級建築士事務所登録第1-2481号 一級建築士登録第343708号 大久保 雅彦					

氏名 蕨原分団蕨生地区消防ポンプ庫解体 及びコミュニティ消防センター新築工事			
図面名 既存ポンプ庫2	縮尺 S=1/100 単位 2024.10	図番 A-09	
設計事務所  アトリオ73 一級建築士事務所登録第1-2481号 一級建築士事務所登録第3437009号 大久保 章彦			

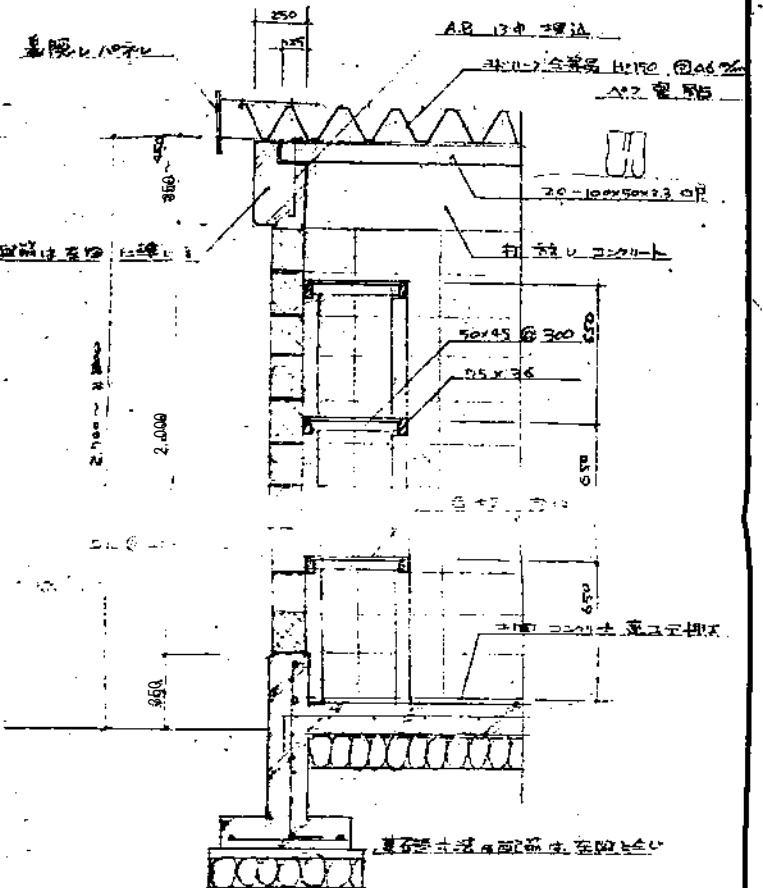
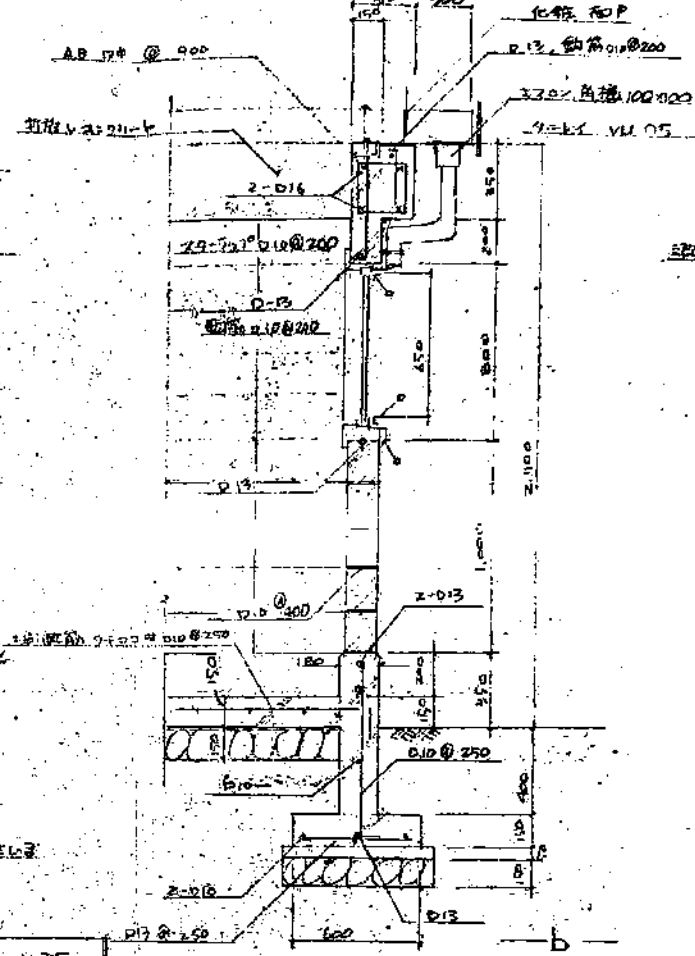
(参考)



平面詳細図 S=1:50



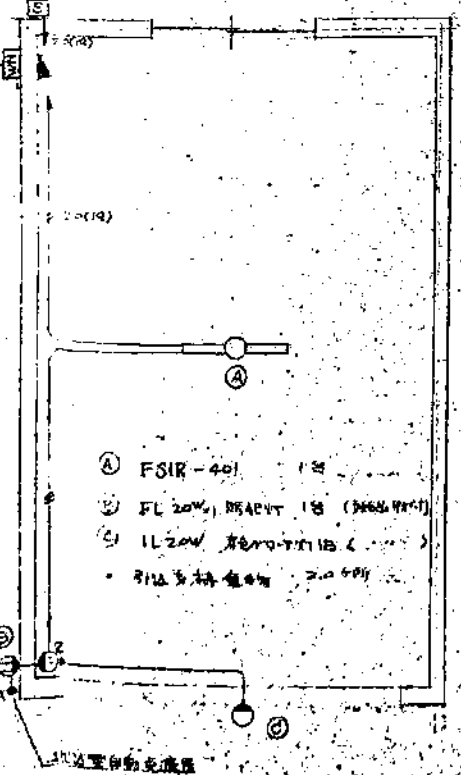
断面詳細図 S=1:25



断面詳細図 S=1:25

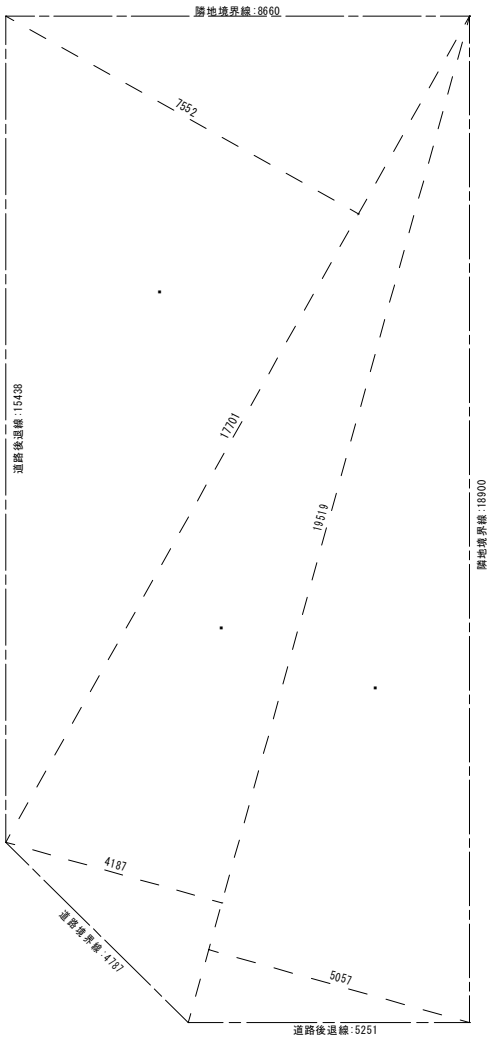
SS-1 配管		AW-1 引き出し	
材質	ステンレス	材質	ステンレス
仕様	仕屋金物一式、取付金物(20×20×2)	仕様	仕屋金物一式、取付金物(20×20×2)
仕上	焼付塗装、消研面、白文塗装、ステンレス	仕上	アルマイト、ブルー仕上
型寸	3,100	型寸	1,500
寸法	3,200	寸法	450

建具表 S=1:50

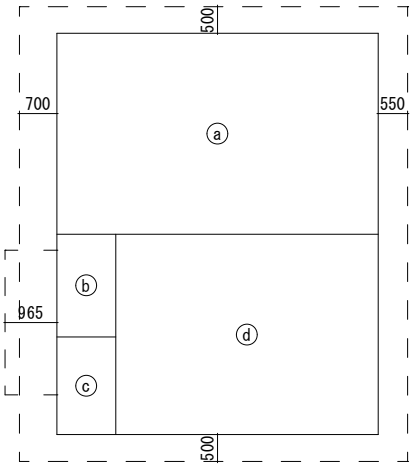


電気設備図 S=1:50

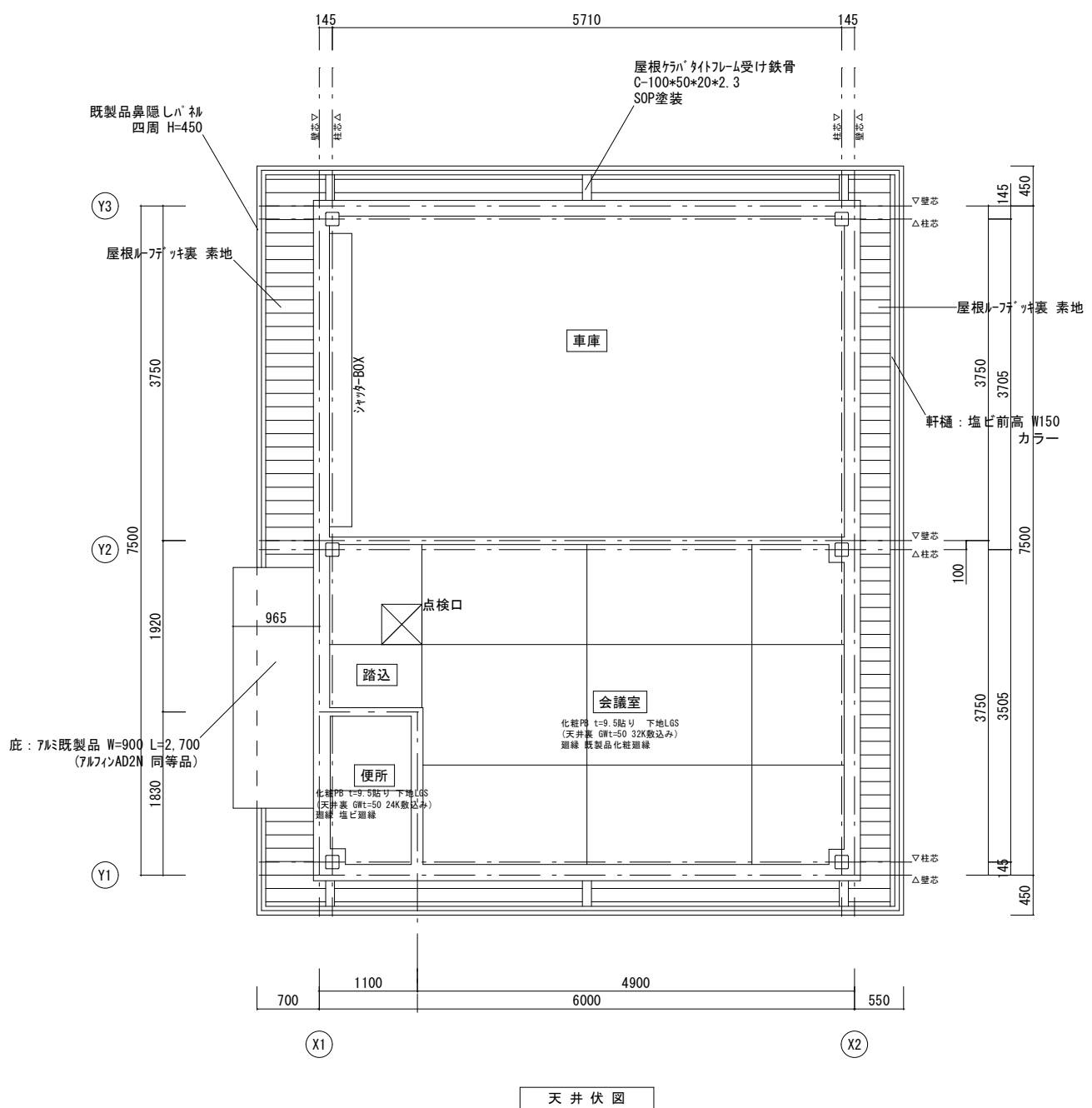
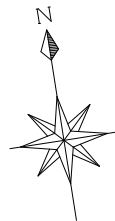
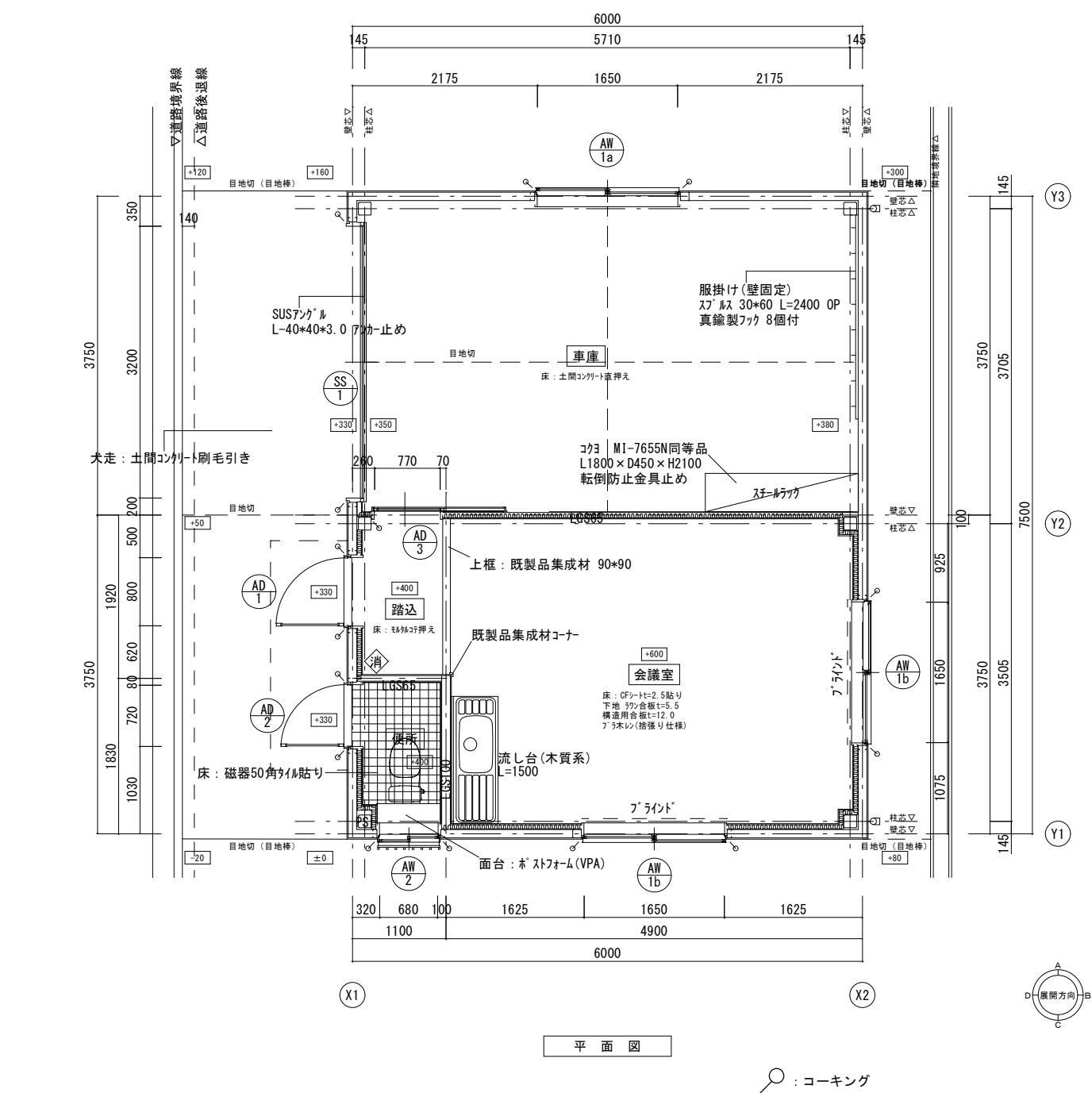
工事名	消防ポンプ室新築工事			工番	
平面詳細図、断面詳細図	縮	1:50	図	NO	
高野分団高野地区消防ポンプ庫解体及びコミュニティ消防センター新築工事					
既存ポンプ庫3	S=1/50・25			A-10	
2024.10					
設計事務所 アトリエ73					
一級建築士事務所登録第1-2481号 大久保 和夫					
一級建築士事務所登録第210988号 大久保 和夫					



・	17,701 * 7,552	133,677
・	19,519 * 4,187	81,726
・	19,519 * 5,057	98,707
倍面積 (m2)		314.110
面積 (m2)		157.05



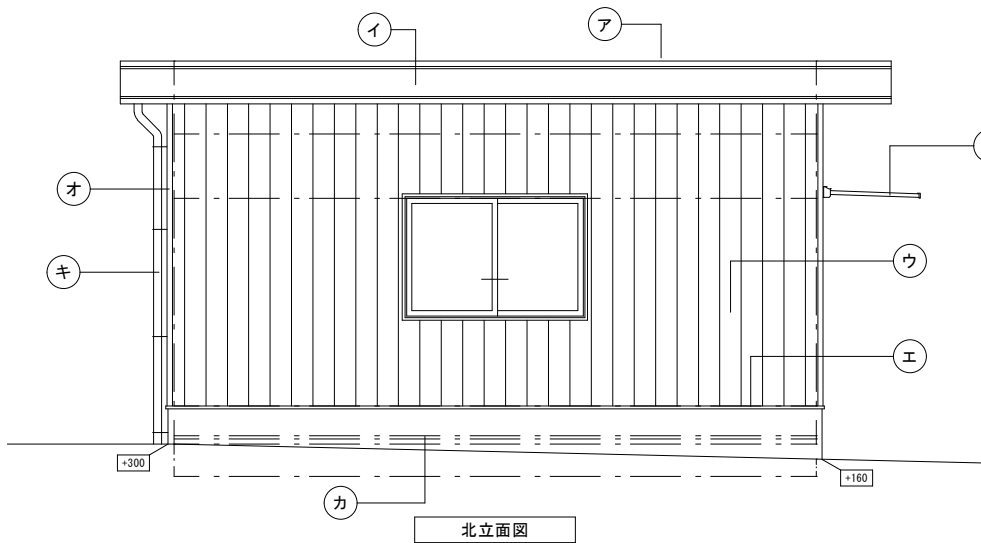
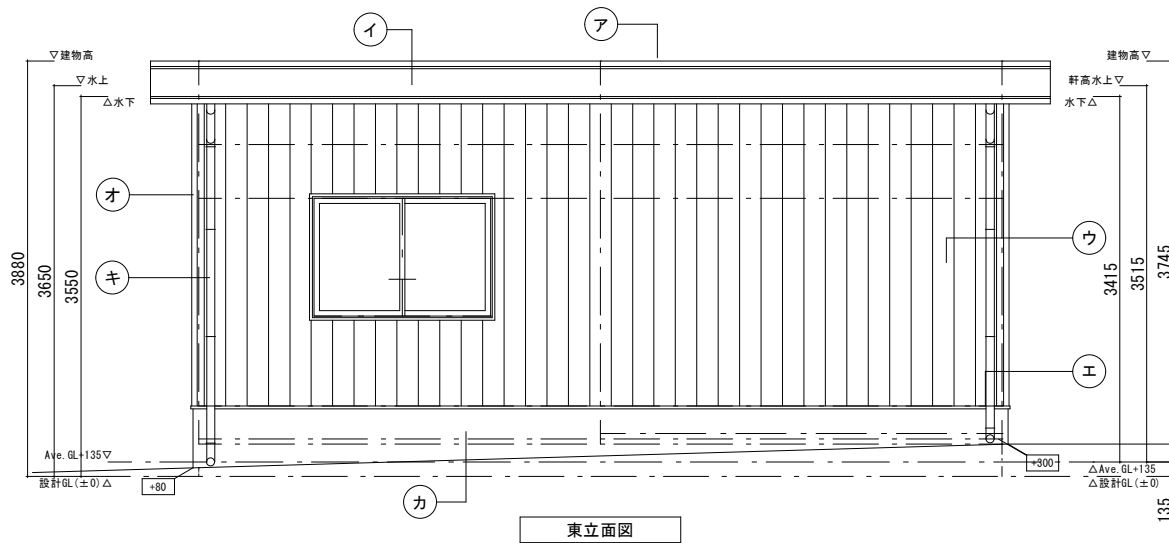
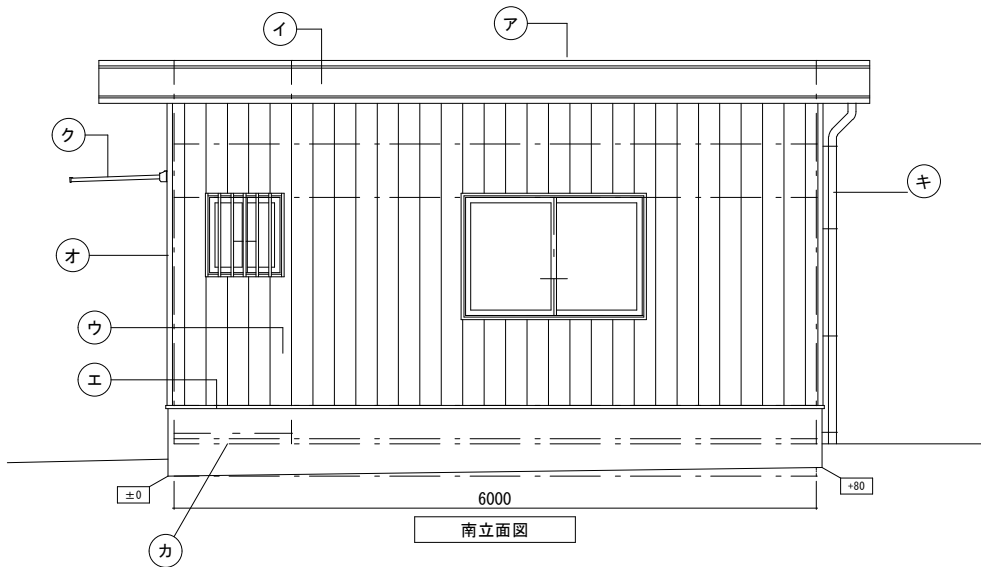
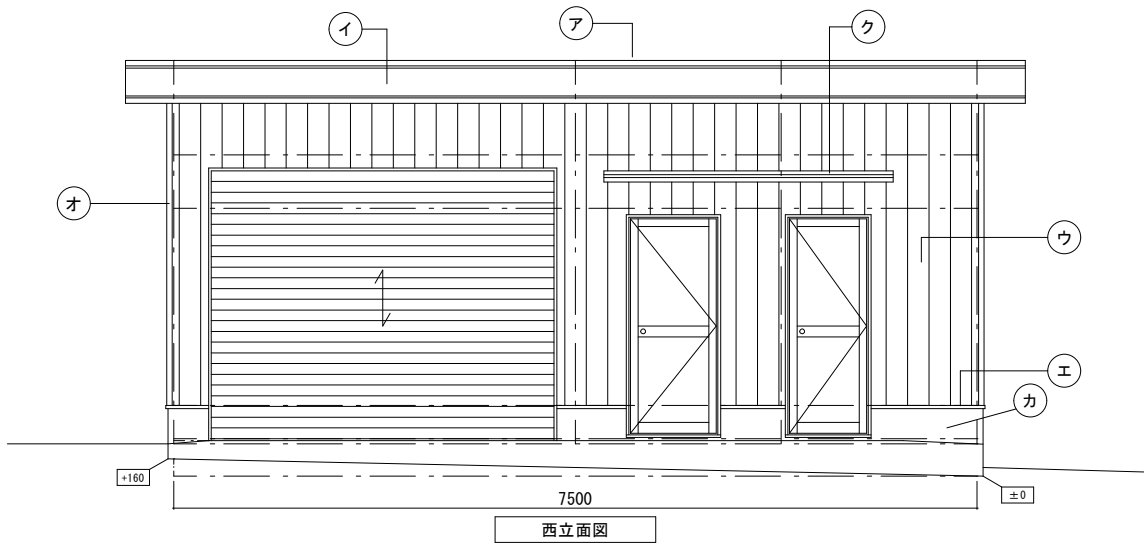
	X	Y	X*Y
a	6,000	3,750	22,500
b	1,100	1,920	2,112
c	1,100	1,830	2,013
d	4,900	3,750	18,375
合計 (m2)			45.00



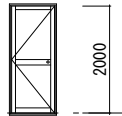
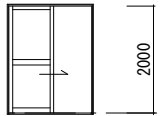
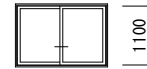
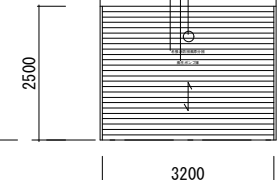
内部仕上表		特記なき仕上材は、F☆☆☆☆製品を使用する。							
	室名	床	床高(設計GL+)	巾木	壁	天 井	天井回り縁	天井高	備考
	車庫	土間コンクリート直押え (目地切)	+350~+380	コンクリート打放し修正	C面:ケイ酸カルシウム板t=8.0目地貼 EP 下地LGS(平12建告1400号) A, B, D面:鋼材現し	屋根材現し(平12建告1400号) ガルバリウム鋼板ルーフィングt=0.8ベア材t=4.0裏貼(ベア:不燃認定品)	-	3,220~3,350	服掛けフック・スチールラック
	便所	セラミックタイル50角貼り	+400	セラミックタイル50角貼り	化粧ケイカル板t=6.0貼 下地耐水PBt=12.5 LGS(平12建告1400号)	化粧PB t=9.5貼り 下地LGS(平12建告1401号)	塩ビ	2,700	
	会議室	CFシートt=2.5貼り 下地 ラワン合板t=5.5 + 構造用合板 t=12.0 プラモレン(捨張り仕様)	+600	ソフト巾木 H=60	ビニールクロス貼り 下地PBt=12.5 LGS(平12建告1400号)	化粧PB t=9.5貼り 下地LGS(平12建告1401号)	塩ビ	2,500	ブラインド(ベネチヤ) 流し台(L=1500、アルミ水切り)
	流し台・前面				化粧ケイカル板 t=6.0貼 下地耐水PBt=12.5 LGS(平12建告1400号)			2,700	天井点検口(450角)
	踏 込	モルタルコテ押え t=30	+400	モルタルコテ押え t=20	ビニールクロス貼り 下地PBt=12.5 LGS(平12建告1400号)				

◇消: 消火器 ABC粉末 10型スタン'共(機械設備工事)

※ 外壁面内部LGSは、W50とする 車庫部分を除く外壁面には、グラスウールt=50 (32K品) 充填								工事名 薦原分団薦生地区消防ポンプ庫解体 及びコミュニティ消防センター新築工事			
◇ 無窓階検討 ◇(算定建具:SS-1, AD-1)・必要面積:7.50*6.00/30 = 1.50 (3.20*2.50)+(0.75*2.50) = 9.875 > 1.50 ∴OK								平面図・仕上表	S=1/50	A-13	設計事務所 アトリエ73 一級建築士事務所登録第1-2481号 一級建築士登録第343708号 大久保 雅之 一級建築士登録第210968号 大久保 和真
								天井伏図	2024.10		



立面図 凡 例	
ア	屋根：ガルバリウム鋼板ルーフデッキ葺き H=90ボルトレス t=0.8 カラー ベ'フ裏貼り t=4.0表貼(ベ'フ:不燃認定品)
イ	既製品鼻隠しパネル H=450
ウ	外壁：角波ガルバリウム鋼板 t=0.4 カラー 貼り 下地 防水シート+PB t=12.5
エ	水切：ガルバリウム鋼板t=0.4 カラー
オ	コーナーカバー：ガルバリウム鋼板t=0.4 カラー
カ	巾木：コンクリート打放し補修
キ	縦樋：VP75 カラー
ク	底：アルミ既製品 W=900 L=2,700 (7RフィAD2N 同等品)

建 具 リ ス ト										S=1/100										
記号・数量	AD 1	AD 2	各 1ヶ所		AD 3	1ヶ所		AW 1a	AW 1b	1a 1ヶ所 1b 2ヶ所	AW 2	1ヶ所		SS 1	1ヶ所					
姿 図																				
建具名称	半外付7mm片開き框戸				外付7mm片引き框戸				半外付7mm引違い窓				半外付7mm引違い窓				軽量パランスシャッター			
見 込	メーカー仕様による (95程度)				メーカー仕様による (70程度)				メーカー仕様による (70程度)				メーカー仕様による (70程度)							
材種・仕上	7mm				7mm				7mm				7mm				スチールラット t=0.6 メーカー標準焼付塗装			
硝 子	型板ガラス t=6				フロートガラス t=5.0				車庫：型板ガラス t=6 会議室：フロートガラス t=5.0				型板ガラス t=6							
金 物	AD-1 握り玉付きシンガー錠/屋内側握り玉付きサムターン錠 AD-2 握り玉付きシンガー錠/屋内側握り玉付き空錠、表示錠/屋内側サムターン錠 SUS丁番、ドアチェック、アングル 腰7mmハネル、SUS番指、その他付属金物一式				引き手付きシンガー錠/屋内側サムターン錠 腰7mmハネル、SUS番指、その他付属金物一式				クレセント、SUS網戸、アングル その他付属金物一式 ブラインド：b1*2ヶ所				クレセント、SUS網戸、アングル 7mm面格子、その他付属金物一式				メーカー標準付属金物一式 (角形ケース 鍵付き) スチール三方枠 (メーカー標準焼付塗装)			
額 縁	MDF				MDF				MDF				MDF				MDF			

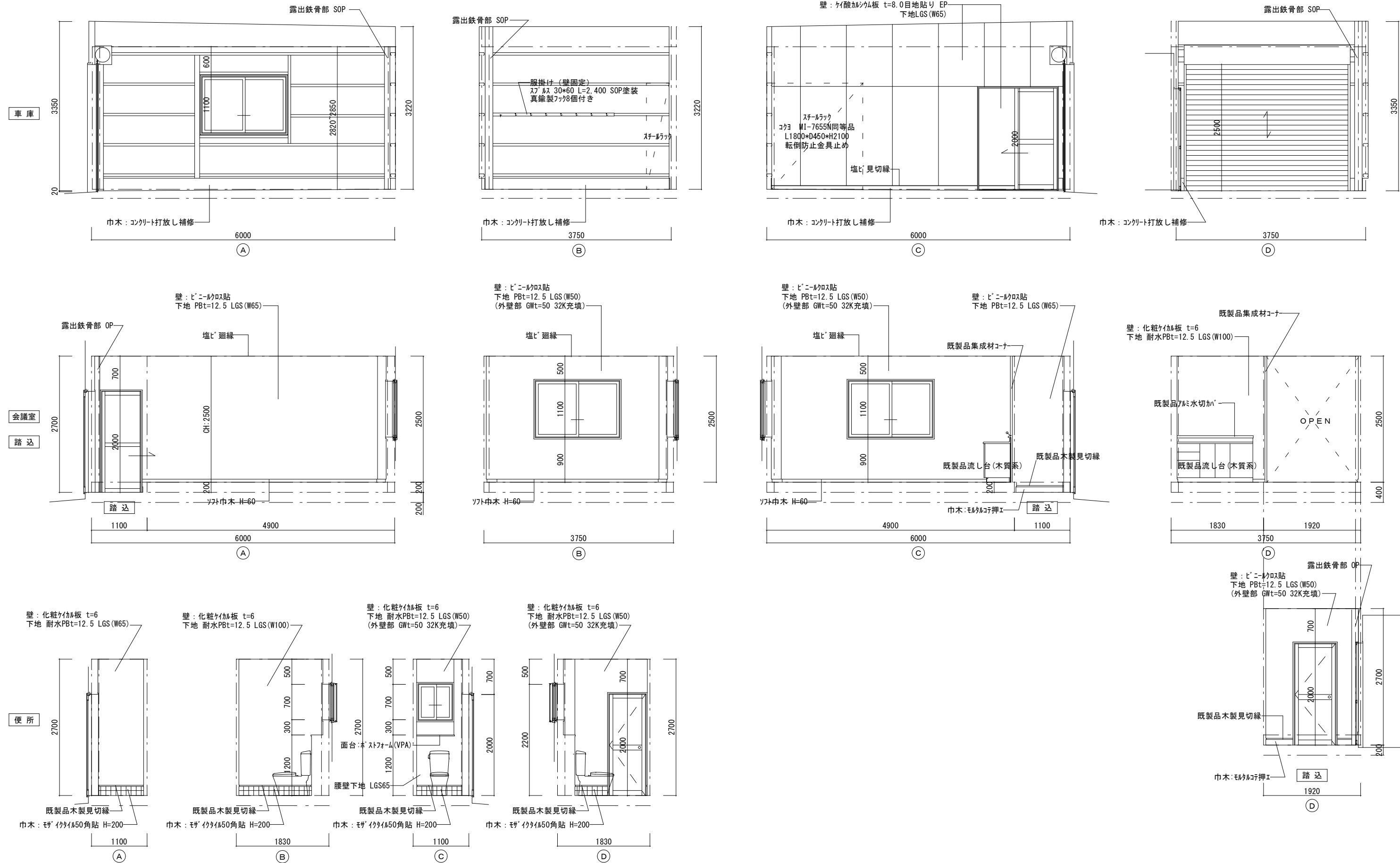
平均地盤面算定(Ave. GL)：(160*7500)/2+(160+300)*6000/2+(300+80)*7500/2+(80*6000)/2 = 3645000/27000 = ∴Ave. GL: +135

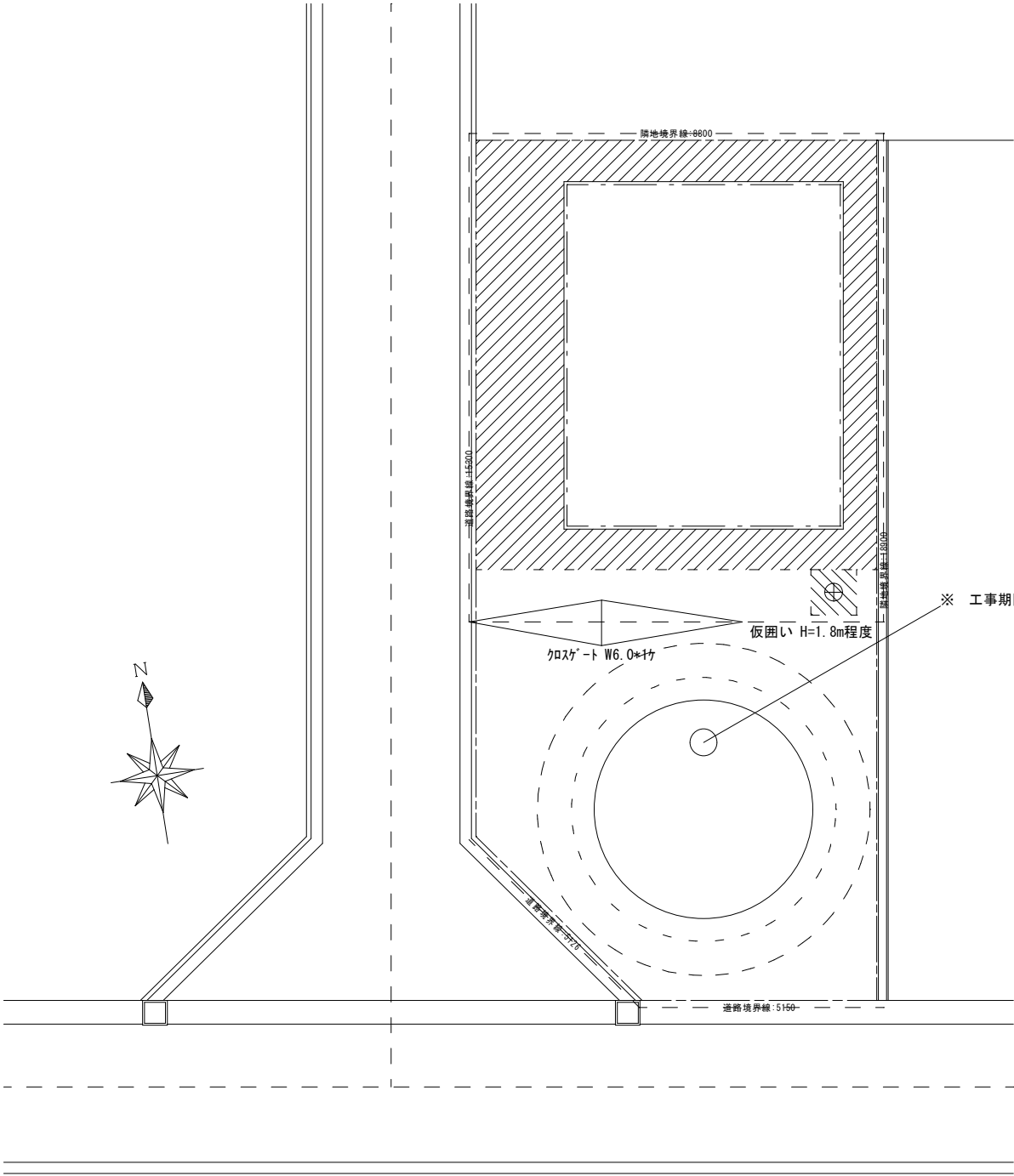
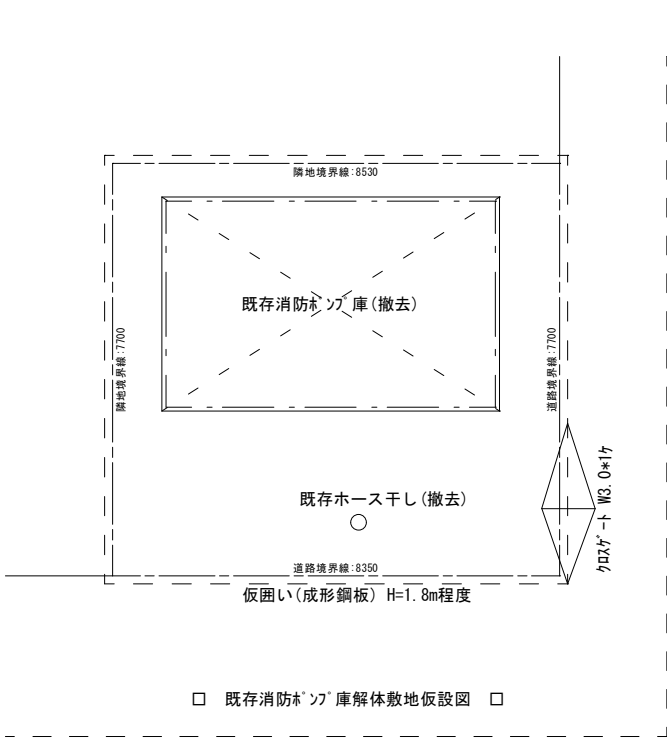


工事名 薦原分団薦生地区消防ポンプ庫解体
及びコミュニティ消防センター新築工事

図面名 立面図・建具表
スケール S=1/50・100
日付 2024.10
頁数 A-14

設計事務所 アトリエ73
一級建築士事務所登録第1-2481号 大久保 雅夫
一級建築士登録第343709号 大久保 雅夫
一級建築士登録第210968号 大久保 和英





※ 工事期間中も有事の際には、防火水槽を使用できる計画とすること。

※ 仮囲い等の仮設は、監督員と協議の上決定する事。

□ 共通仮設工事

- ・交通誘導員B (43人程度)
 - ・クロスゲート6.0m, 120日
 - ・クロスゲート3.0m, 30日 (旧ポンプ庫)
 - ・仮囲い(シート・B型ハックシート) 48.1m程度 H1.8m 120日
 - ・仮囲い(成形鋼板) 32.5m程度 H1.8m 30日
 - ・揚重機4.9t 2日 (鉄骨工事)
 - ・揚重機12t 1日 (解体用)
 - ・高所作業車H12m 2日 (ホース乾燥塔 設備 撤去時、新設時)
 - ・高所作業車H22m 1日 (ホース乾燥塔 撤去時)
- ※建柱時の建柱車はホース乾燥塔施工手間に含む。

□ コミュニティ消防センター新築敷地仮設図 □

※ 既設コンクリート舗装の損傷に注意すること。
※ 共通仮設は図示以上とすること。

										上書き										蕨原分団蕨生地区消防ポンプ庫解体 及びコミュニティ消防センター新築工事									
										図面名										共通仮設図									
										概尺										S=1/100									
										日付										2024. 10									
																				図番									
																				A-19									
										設計事務所										アトリエ73									
										一級建築士事務所登録第11-2451号										二級建築士登録第343708号									
										一級建築士登録第210968号										大久保 雅典									
																				大久保 和菜									